

<u>ファイル名</u>	SmtplibClient.vbp
<u>プロジェクト名</u>	VBSmtplibClient (ActiveX DLL)
<u>クラス名</u>	SmtplibMailer
<u>モジュール名</u>	SmtplibMailer.cls (クラスモジュール)

説明

Visual Basic 6.0 に付属の Winsock コントロールを用いて作成された SMTP クライアントで、ActiveX DLL として動作する。このため、Visual Basic アプリケーションから呼び出すことはもちろん、Windows Scripting Host や、Active Server Pages からの呼び出しも可能である。主な利用方法として、メールの自動送信を想定している。マシン・ステータスの定期的なレポートや、WWW ホームページへのアクセスに対して、自動的にメールで応答するような応用が考えられる。

ここで紹介している VBSmtpClient は、3 階層のオブジェクトで構成されており、winTcpClient クラス (Winsock コントロールが貼り付けられたフォーム) が一番下層で、TCP クライアントの機能を実装している。中間層は、SmtplibClient クラスであり、SMTP プロトコルを実装されている。SmtplibClient クラスでは、いわゆる ASCII 7bit 文字しか取り扱えない。一番上層が、ここで説明する SmtplibMailer クラスである。UNICODE を用いて表現されている日本語の内容を ASCII 7bit 文字列に変換し、適切なヘッダーを生成する機能、宛先 (To、Cc、Bcc) のアドレスからヘッダーを生成する機能などが、SmtplibMailer クラスに実装されている。

ヘッダーの生成方法や MIME は、RFC822、RFC1522、RFC1341 に準拠するよう、努力されている。ヘッダーにおける日本語の使用は、ISO-2022-JP の Character-Set を用い、BASE64 によりエンコードされる。本文における日本語の使用は、ISO-2022-JP の Character-Set を用い、Esc\$B、ESC(B シーケンスによる。

プロパティやメソッドで String 型のデータを渡すときは、UNICODE 文字列を用いること。インターネットの規約で縛られるデータは、いわゆる半角の英数字 (ASCII Code で 0 から 127) を用いなければならない。また、いわゆる半角片仮名 (1 バイト片仮名、ASCII Code で 128 から 255) は、7 ビット体系のインターネット・メールでは使用することができないため、すべて全角片仮名 (2 バイト片仮名) に変換される。

キーワード

SMTP、クライアント、ActiveX DLL、ISO-2022-JP、RFC822、RFC1522、RFC1341

<u>プロパティ名</u>	ServerName
<u>戻り値型</u>	String
<u>引数</u>	ByVal strNewName As String
<u>説明</u>	SMTP サーバのドメイン名を指定する。IP アドレスを指定してもよい。

<u>プロパティ名</u>	ServerPort
<u>戻り値型</u>	Integer
<u>引数</u>	ByVal intNewPort As Integer
<u>説明</u>	SMTP サーバの接続ポートを指定する。デフォルト値は 25 で、ほとんどの場合、 <u>変更してはならない</u> 。

<u>プロパティ名</u>	ClientName
<u>戻り値型</u>	String
<u>引数</u>	Byval strNewName As String
<u>説明</u>	SMTP サーバに HELO コマンドを送信する際に用いられる、クライアント側の名前。つまり、SMTP サーバに対してクライアントが名乗る名前である。

<u>プロパティ名</u>	ClientMailAddress
<u>戻り値型</u>	String
<u>引数</u>	Byval strNewAddress As String
<u>説明</u>	送信者のメールアドレス。インターネット・メールの規約にしたがったアドレスを用いなければならない。SMTP サーバに MAIL FROM: コマンドを送信する際に用いられる。From: ヘッダーにもこの値が用いられる。

<u>プロパティ名</u>	ClientRealName
<u>戻り値型</u>	String
<u>引数</u>	Byval strNewAddress As String
<u>説明</u>	送信者の名前。ニックネームでもよい。日本語が使用できる。From: ヘッダーでこの値が用いられる。

<u>プロパティ名</u>	ErrorMessage
<u>戻り値型</u>	String
<u>説明</u>	通信中（SendMail メソッド実行中）に発生したエラーの内容を保持している。エラーの内容については、SmtpClient クラスの ErrorMessage プロパティを参照のこと。

<u>プロパティ名</u>	Log
<u>戻り値型</u>	String
<u>説明</u>	通信中（SendMail メソッド実行中）のログ。ログの内容そのものは、winTcpClient（フォームモジュール）で生成されたものである。

<u>メソッド名</u>	SetTo
<u>引数</u>	ByVal strAddress As String
<u>説明</u>	メールの送信先を設定する。インターネット・メールの規約にしたがったアドレスを用いなければならない。SMTP サーバに RCPT TO: コマンドで送信されるとともに、To: ヘッダーにもこの値が用いられる。複数回このメソッドを実行することにより、複数の送信先を設定することができる。

<u>メソッド名</u>	SetCc
<u>引数</u>	ByVal strAddress As String
<u>説明</u>	メールの送信先を設定する。インターネット・メールの規約にしたがったアドレスを用いなければならない。SMTP サーバに RCPT TO: コマンドで送信されるとともに、Cc: ヘッダーにもこの値が用いられる。複数回このメソッドを実行することにより、複数の送信先を設定することができる。

<u>メソッド名</u>	SetBcc
<u>引数</u>	ByVal strAddress As String
<u>説明</u>	メールの送信先を設定する。インターネット・メールの規約にしたがったアドレスを用いなければならない。SMTP サーバに RCPT TO: コマンドで送信されるが、ヘッダーにはこの値は付加されない。複数回このメソッドを実行することにより、複数の送信先を設定することができる。

<u>メソッド名</u>	SetSubject
<u>引数</u>	ByVal strSubject As String
<u>説明</u>	メールの表題を設定する。日本語を用いてよい。Subject: ヘッダーに用いられる。

<u>メソッド名</u>	SetSentense
<u>引数</u>	ByVal strSentense As String
<u>説明</u>	メールの本文を設定する。日本語を用いてよい。複数回このメソッドを実行すると、本文は次々につなげられて行き、長くなっていく。

<u>メソッド名</u>	SendMail
<u>説明</u>	メールを送信する。